(19)日本国特許庁(JP)

(12) 公表特許公報(A)

(II)特許出願公表番号 特表2002-542743 (P2002-542743A)

(43)公表日 平成14年12月10日(2002, 12, 10)

(51) Int.Cl.° H 0 4 Q 7/34 織別紀号

FI H04Q 7/04 テーマユード(参考)

B 5K067

審査請求 未請求 予備審査請求 有 (全28頁)

(21) 凸顯番号	特願2000-613209(P2000-613209)	(71) 出順人	テレフオンアクチーボラゲット エル エ
(86) (22) 出願日	平成12年4月14日(2000.4.14)		ム エリクソン (パブル)
(86) 翻訳文提出日	平成13年10月11日(2001.10.11)		スウェーデン団エス - 126 25 スト
(86) 函際出顯番号	PCT/EP00/03367		ックホルム
(87) 国際公開番号	WOO 0/64199	(72) 発明者	ヴィランデル、 ハッリ
(87) 国際公開日	平成12年10月26日(2000.10.26)		フィンランド国 エスポー エフアイエヌ
(31) 優先権主張番号	990826		ー02600、 アルベルイアネスブラナディ
(32) 優先日	平成11年4月14日(1999.4.14)		11 エー 3
(33)優光権主張回	フィンランド (PI)	(72)発明者	レトヴィルタ、 ヴェザ フィンランド国 エスポー エフアイエヌ -02620, カラカリオンクヤ 6 シー 21
		(74)代理人	弁理士 大塚 康徳 (外3名) 最終頁に続く

(54)【発明の名称】 移動通信システムにおける回復

(57)【要約】

本発明は、複数のプロセッサを備えた移動通信ネットワーク・ノードにおけるプロセッサの故障からの回復の方法に関する。使用において、ネットワーク・ノードと移動局との間に、ネットワーク・ノードと移動局との間のパケット・データ過信のための接続が確立される。予め定められた分類パラメータに基づいて、接続が優先順位に分類される。ネットワーク・ノードのプロセッサの少なくとも1つの動作状態がモニタされ、プロセッサの飲管を検出した場合に、ネットワーク・ノード内で、ユーザ・ブレーン接続が、接続の分類された優先順位に従って、故障したプロセッサから別のプロセッサへ再配置される。本発明は更にネットワーク・ノードに関連する。

